

一般社団法人日本人工関節学会

令和4年度

事業報告

貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録

令和5年度

事業計画

予算書

令和4年度事業報告

(令和4年1月1日から令和4年12月31日まで)

1. 学術集会

第52回日本人工関節学会

会 長：赤木 将男（近畿大学医学部整形外科学教室）

会 期：令和4（2022）年2月25日（金）～26日（土）

会 場：国立京都国際会館

テーマ：臨床研究のすすめ ―世界は未知のモノにあふれている―

事務局：近畿大学医学部 整形外科学教室

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2

TEL：072-366-0221 FAX：072-366-0206

運営事務局：日本コンベンションサービス（株）神戸支社内

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1 神戸国際交流会館 6階

TEL：078-303-1101 FAX：078-303-3760

開催形式 現地開催・オンデマンド配信（2022年3月14日～4月14日）

2. 理事会・社員総会

理事会

- ・ 令和4年1月31日（月）オンライン会議
- ・ 令和4年2月24日（木）国立京都国際会館
- ・ 令和4年5月21日（土）神戸国際会議場
- ・ 令和4年7月28日（木）オンライン会議
- ・ 令和4年10月24日（月）オンライン会議
- ・ 令和4年12月19日（月）オンライン会議

社員総会

- ・ 令和4年2月24日（木）オンライン会議

3. 委員会活動

委員会を設置し、学会活動を推進した。

- ・ 日本人工関節登録制度運営委員会
- ・ 人工関節認定医制度検討委員会
- ・ 用語委員会
- ・ 国際委員会
- ・ 利益相反委員会
- ・ 社会保険委員会
- ・ 教育研修委員会
- ・ 編集委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 褒章委員会（旧：学術委員会）
- ・ 学術研究企画委員会

4. 機関誌の発行

- ・ 「日本人工関節学会誌」第52巻を発行した。(発行日：令和4年12月)
第52巻から、「メディカルオンライン」で電子版を公開し、会員専用ページに全文PDFを掲載した。
- ・ 英文誌「Journal of Joint Surgery and Research (JJSR)」(2023年2月創刊予定、Elsevier社)
日本股関節学会、日本膝関節学会(2023年設立予定)と共同運用によるOfficial Journalとして創刊準備を進めた。股関節、膝関節、足関節、肩関節、肘関節等の関節分野における臨床研究・基礎研究に関する質の高い研究論文を発表する英文のオープンアクセスジャーナルとなる。創刊後5年間は投稿論文掲載料を無料とする。

5. 表彰

- ・ 会員の研究活動の活性化を促進することを目的に、学会賞、若手研究者奨励賞、学会優秀演題賞を創設し、学会賞、若手研究者奨励賞を公募し、選考を実施した。
- ・ 学会賞1名、若手研究者奨励賞2名の受賞者を決定した。
- ・ 第52回日本人工関節学会において一般財団法人イオン工学振興財団の支援のもと、新たに優秀演題賞を設けて、最終演題賞1名、優秀演題賞2名の受賞者を決定した。

6. 日本人工関節登録制度

- ・ 日本人工関節登録制度運営委員会のもと、日本人工関節登録制度 JAR (Japan Arthroplasty Register) を推進した。
- ・ 日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) の運用に協力した。
- ・ International Society of Arthroplasty Registries (ISAR) に Associate membership として参画した。

7. 認定医制度

- ・ 令和4年12月31日現在の人工関節認定医数1,057名
- ・ 第4回認定医制度59名の資格取得申請があり、書類審査を行った結果59名を認定した。

8. 教育・研修

- ・ 認定医取得・維持のための研修分野を設定し学術集会における指定講演を設けた。
- ・ 第1回サージカルトレーニングカタバーセミナーを企画し開催した。
開催日：令和4年10月7日(金)～10月8日(土)
会場：北海道公立大学法人 札幌医科大学サージカルトレーニングセンター

9. 研究推進

- ・ 人工関節の進歩・普及や人工関節手術の成績向上に貢献し、学会の発展に寄与する臨床研究を施行するため、プロジェクト研究課題を募集した。
- ・ プロジェクト研究課題を公募し、選考のうえ5題を採択した。

10. 社会保険

- ・ 外科系学会社会保険委員会連合(外保連)の活動に参画し、令和6年度診療報酬改定に向けて要望項目の検討を行い、要望アンケートを提出した。

11. 国際活動

- ・ 第52回日本人工関節学会(2022年)において、EHS EKS combined sessionを開催した。

- ・ 第 53 回日本人工関節学会（2023 年）における combined session を企画した。

1 2. 広報活動

- ・ ホームページの充実化を図るため、内容を見直しリニューアルを実施した。
- ・ ニュースレター「Japanese Arthroplasty Now (JAN)」を創刊し、学術集会、委員会活動、表彰、トピックス、レジェンドコラム等を掲載し学会活動を広く周知を図った。

1 3. 刊行物

- ・ 本学会編による「人工膝関節置換術」、「人工股関節置換術」を 2023 年 2 月に南江堂から発刊するため、対象とした教科書の発行を企画し、2023 年発行に向けて準備を進めた。
- ・ 本邦においては 50 年以上にわたり人工膝関節置換術、人工股関節置換術が施行されており、日本で開発されたインプラントも多くある。また、本邦では数多くのバイオマテリアル、バイオメカニクスなどに関する基礎研究が行われ、インプラントの材質および形状の改善に寄与してきた。多くの臨床研究も行われ、手術手技の最適化も進んできている。本邦における研究成果は人工関節の発展に大きく貢献してきたといっても過言ではない。そこで、その功績をまとめ、今後の人工関節学の更なる発展の礎とすることが本書刊行の主旨となっている。また、本邦の人工関節学の業績を世界へ発信する絶好の機会と考えられ、英語版の「Advances in Total Knee Arthroplasty」、「Advances in Total Hip Arthroplasty」も Springer 社から出版を予定している。

1 4. 関連団体との連携

- ・ 日本整形外科学会
- ・ 日本肩関節学会
- ・ 日本股関節学会
- ・ 運動器の健康・日本協会

令和4年度決算報告

正味財産増減計算書

令和4年1月1日～令和4年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	45,010,000	43,190,000	△ 1,820,000	
正会員会費	38,560,000	37,690,000	△ 870,000	当年度・過年度
一般賛助会員	450,000	500,000	50,000	
特別賛助会員	6,000,000	5,000,000	△ 1,000,000	
② 事業収益	127,000,000	140,732,891	13,732,891	
学術集会事業収入	125,500,000	139,732,891	14,232,891	第52回学術集会
教育研修事業収入	1,000,000	1,000,000	0	サージカルトレーニング
広告料収入	500,000	0	△ 500,000	
③ 認定料収益	3,290,000	3,575,000	285,000	
申請料	1,250,000	1,475,000	225,000	
登録料	2,040,000	2,100,000	60,000	
④ 受取補助金	500,000	500,000	0	
人工関節登録助成金	500,000	500,000	0	日本肩関節学会
⑤ 受取寄付金	0	200,000	200,000	優秀演題賞寄付
寄付金	0	200,000	200,000	
⑥ 雑収益	31,000	21,578	△ 9,422	
受取利息	1,000	578	△ 422	
会誌頒布収入	30,000	21,000	△ 9,000	
その他	0	0	0	
経常収益計	175,831,000	188,219,469	12,388,469	
(2) 経常費用			0	
① 事業費	153,570,000	156,040,062	2,470,062	
会誌発行費	3,700,000	3,206,280	△ 493,720	会誌第52巻
会誌製作費	3,700,000	3,206,280	△ 493,720	
会誌発送費	0	0	0	
国際誌発行費	0	0	0	
学術集会関連費	124,800,000	129,000,498	4,200,498	第52回学術集会
教育研修関連費	3,000,000	2,850,852	△ 149,148	サージカルトレーニング
人工関節登録制度関連費	13,000,000	13,656,574	656,574	
認定関連費	1,000,000	500,495	△ 499,505	
表彰費	600,000	868,222	268,222	学公費・若手研究奨励助費・優秀演題賞
委員会活動費	2,500,000	1,021,119	△ 1,478,881	
関連団体分担金	670,000	781,630	111,630	運動器10年、ISAR、外保連
広報活動費	4,300,000	4,154,392	△ 145,608	HP/NL
② 管理費	12,280,000	12,151,742	△ 128,258	
事務委託費	7,500,000	7,764,400	264,400	
顧問料	330,000	330,000	0	税理士
会議費	500,000	847,666	347,666	
事務費	0	0	0	
通信費	900,000	620,678	△ 279,322	
印刷費	400,000	419,331	19,331	
旅費・交通費	250,000	170,189	△ 79,811	
租税公課	100,000	70,000	△ 30,000	法人住民税
消費税等充当額	2,000,000	1,520,700	△ 479,300	
雑費	300,000	408,778	108,778	役員登記他
経常費用計	165,850,000	168,191,804	2,341,804	
当期経常増減額	9,981,000	20,027,665	10,046,665	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	9,981,000	20,027,665	10,046,665	
一般正味財産期首残高	209,364,104	209,364,104	0	
一般正味財産期末残高	219,345,104	229,391,769	10,046,665	
II 指定正味財産増減の部				
受取助成金	2,000,000	2,000,000	0	イオン工学財団
一般正味財産への振替	△ 200,000	△ 200,000	0	受取寄付金
当期指定正味財産増減額	1,800,000	1,800,000	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	1,800,000	1,800,000	0	
III 正味財産期末残高	221,145,104	231,191,769	10,046,665	

貸借対照表

令和4年12月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	237,061,041	221,523,676	15,537,365
未収入金	540,000	91,500	448,500
仮払金	0	3,000,000	△ 3,000,000
流動資産合計	237,601,041	224,615,176	12,985,865
資産合計	237,601,041	224,615,176	12,985,865
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	250,000	300,000	△ 50,000
未払金	4,781,372	14,516,072	△ 9,734,700
未払費用	330,000	330,000	0
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	917,900	0	917,900
仮受金	60,000	35,000	25,000
流動負債合計	6,409,272	15,251,072	△ 8,841,800
負債合計	6,409,272	15,251,072	△ 8,841,800
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,800,000	0	1,800,000
指定正味財産合計	1,800,000	0	1,800,000
2. 一般正味財産	229,391,769	209,364,104	20,027,665
正味財産合計	231,191,769	209,364,104	21,827,665
負債及び正味財産合計	237,601,041	224,615,176	12,985,865

財産目録

令和4年12月31日現在

(単位：円)

科目	摘要	金額		備考
I 資産の部				
流動資産				
郵便振替	ゆうちょ銀行（会費口）	124,651,237		
郵便振替	ゆうちょ銀行（認定口）	60,208,477		
普通預金	三菱UFJ銀行聖護院支店	22,201,327		
定期預金	三菱UFJ銀行聖護院支店	30,000,000		
未収入金	人工関節登録供出金他	540,000		
流動資産合計			237,601,041	
資産合計			237,601,041	
II 負債の部				
流動負債				
未払金	会誌第52巻製作費、業務費他	4,781,372		
未払費用	税理士顧問料	330,000		
未払法人税等	法人都民税	70,000		
未払消費税等	消費税・地方消費税	917,900		
前受会費	次年度以降会費	250,000		
仮受金		60,000		
流動負債合計			6,409,272	
負債合計			6,409,272	
正味財産			231,191,769	

令和5年度事業計画

(令和5年1月1日から令和5年12月31日まで)

1. 学術集会

会 長：大谷 卓也（東京慈恵会医科大学附属第三病院 整形外科）

会 期：Web学会（オンデマンド）：令和5(2023)年2月10日（金）～3月31日（金）

現地学会（パシフィコ横浜ノース）：令和5(2023)年2月17日（金）～18日（土）

現地内容オンデマンド配信：令和5(2023)年2月20日（月）～3月31日（金）

会 場：パシフィコ横浜 ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

テーマ：We're JSRA カスタマイズして参加、皆で前進

事務局：東京慈恵会医科大学附属第三病院 整形外科

〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4丁目11-1

TEL：03-3480-1151

運営事務局：株式会社コングレ

〒103-8276 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング

TEL：03-3510-3701 FAX：03-3510-3702

E-mail：jsra2023@congre.co.jp

開催形式 現地開催・オンデマンド配信

2. 理事会・社員総会

- ・ 理事会 令和5年2月3日（金）オンライン会議

令和5年2月16日（木）パシフィコ横浜 ノース

その他必要に応じて開催する

- ・ 社員総会 令和5年2月16日（木）パシフィコ横浜 ノース（併用オンライン）

3. 委員会活動

委員会を設置し、学会活動を推進する。

- ・ 日本人工関節登録制度運営委員会
- ・ 人工関節認定医制度検討委員会
- ・ 用語委員会
- ・ 国際委員会
- ・ 利益相反委員会
- ・ 社会保険委員会
- ・ 教育研修委員会
- ・ 編集委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 褒章委員会
- ・ 学術研究企画委員会

4. 表彰

- ・ 学会賞、若手研究者奨励賞、優秀演題賞の公募を行い、受賞者を決定し表彰する。

5. 機関誌の発行

- ・ 「日本人工関節学会誌」第53巻を発行する。(発行予定日：令和5年12月)
- ・ 英文誌「Journal of Joint Surgery and Research (JJSR)」(2023年2月創刊予定、Elsevier社、オープンアクセス)を発行する。創刊号は第53回日本人工関節学会会期中に冊子体を配布する。

6. 日本人工関節登録制度

- ・ 日本における人工関節登録調査の登録率向上のための活動を推進する。
- ・ 日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) の運用に協力する。
- ・ International Society of Arthroplasty Registries (ISAR)に Associate membership として参画する。

7. 認定医制度

- ・ 第5回認定医制度の実施ならびに資格審査を行い、決定のうえ登録し、認定証等を交付する。

8. 教育・研修

- ・ 学術集会時における指定講演を実施する。
- ・ 第2回サージカルトレーニングカタバーセミナーの開催を実施する。
開催日：令和5年9月16日(土)～9月17日(日)
会場：北海道公立大学法人 札幌医科大学サージカルトレーニングセンター

9. 研究推進

- ・ プロジェクト研究課題の公募を行う。

10. 社会保険

- ・ 令和6年度診療報酬改定に向けた改正要望書を提出する。

11. 国際活動

- ・ 第53回日本人工関節学会(2023年)にAO Recon/JSRA Combined Seminarを開催する。
- ・ Combined symposium with Arthroplasty Society in Asia (ASIA)から招聘され、本年7月22～23日 ASIAの学会で合同シンポジウムを行う予定。
- ・ 第54回日本人工関節学会(2024年)のcombined meetingの実施に向けて企画の検討を行う。

12. 刊行物の発行

- ・ 本学会編による「人工膝関節置換術」、「人工股関節置換術」を南江堂から発刊する。
- ・ 英語版「Advances in Total Knee Arthroplasty」、「Advances in Total Hip Arthroplasty」をSpringer社から発行する準備を進める。

13. 広報活動

- ・ ホームページの充実を図り、海外向け英語版ページを作成する。
- ・ ニュースレター「Japanese Arthroplasty Now (JAN)」Vol.2 No.1.No2.を発行する。
- ・ 会員登録情報の閲覧・更新、会費決済等のオンラインサービスを検討する。

14. 関連団体との連携

- ・ 日本整形外科学会
- ・ 日本肩関節学会
- ・ 日本股関節学会
- ・ 運動器の健康・日本協会

令和5年度予算書

正味財産増減予算書

令和5年1月1日～令和5年12月31日

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	45,200,000	45,010,000	190,000	
正会員会費	38,700,000	38,560,000	140,000	当年度・過年度
一般賛助会員	500,000	450,000	50,000	
特別賛助会員	6,000,000	6,000,000	0	
② 事業収益	158,200,000	127,000,000	31,200,000	
学術集会事業収入	156,850,000	125,500,000	31,350,000	第53回学術集会
教育研修事業収入	1,000,000	1,000,000	0	サージカルトレーニング
広告料収入	350,000	500,000	△ 150,000	
③ 認定料収益	3,020,000	3,290,000	△ 270,000	
申請料	1,250,000	1,250,000	0	
登録料	1,770,000	2,040,000	△ 270,000	
④ 受取補助金	500,000	500,000	0	
人工関節登録助成金	500,000	500,000	0	日本肩関節学会
⑤ 受取寄付金	2,500,000	0	2,500,000	
寄付金	2,500,000	0	2,500,000	プロジェクト研究他
⑥ 雑収益	31,000	31,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
会誌頒布収入	30,000	30,000	0	
その他	0	0	0	
経常収益計	209,451,000	175,831,000	33,620,000	
(2) 経常費用			0	
① 事業費	191,480,000	153,570,000	37,910,000	
会誌発行費	4,500,000	3,700,000	800,000	
会誌発行費	3,000,000	3,700,000	△ 700,000	会誌第53巻
英文誌発行費	1,500,000	0	1,500,000	JJSR
学術集会関連費	156,500,000	124,800,000	31,700,000	第53回学術集会
教育研修関連費	3,000,000	3,000,000	0	サージカルトレーニング
人工関節登録制度関連費	13,800,000	13,000,000	800,000	
認定関連費	1,000,000	1,000,000	0	
表彰費	900,000	600,000	300,000	学会賞/若手奨励賞/優秀演題賞
委員会活動費	2,500,000	2,500,000	0	
プロジェクト事業費	5,000,000	0	5,000,000	5種類の公費学術プロジェクト
関連団体分担金	780,000	670,000	110,000	運動器10年, ISAR, 外保連
広報活動費	3,500,000	4,300,000	△ 800,000	HP/NL
② 管理費	13,280,000	12,280,000	1,000,000	
事務委託費	7,800,000	7,500,000	300,000	
顧問料	330,000	330,000	0	税理士
会議費	900,000	500,000	400,000	
通信費	900,000	900,000	0	
印刷費	500,000	400,000	100,000	
旅費・交通費	250,000	250,000	0	
租税公課	100,000	100,000	0	法人都民税等
消費税等充当額	2,000,000	2,000,000	0	
雑費	500,000	300,000	200,000	役員登記他
経常費用計	204,760,000	165,850,000	38,910,000	
当期経常増減額	4,691,000	9,981,000	△ 5,290,000	
当期一般正味財産増減額	4,691,000	9,981,000	△ 5,290,000	
一般正味財産期首残高	229,391,769	209,364,104	20,027,665	
一般正味財産期末残高	234,082,769	219,345,104	14,737,665	
II 指定正味財産増減の部				
受取助成金	0	2,000,000	△ 2,000,000	イオン工学財団
一般正味財産への振替	△ 200,000	△ 200,000	0	受取寄付金
当期指定正味財産増減額	△ 200,000	1,800,000	△ 2,000,000	
指定正味財産期首残高	1,800,000	0	1,800,000	
指定正味財産期末残高	1,600,000	1,800,000	△ 200,000	
III 正味財産期末残高	235,682,769	221,145,104	14,537,665	